

# 第17回 ありみね高校生学びの森

- 2021年10月3日(日) -



## ニュースレター No.3

令和3年(2021)10月3日(日):動物班・植物班共通で、有峰の動植物について調査活動  
(猪根平・猪根山遊歩道 及び 有峰ビジターセンター)

森の中に入る なぜだか なつかしい  
それは 我々の遺伝子に深く刻まれた  
生命の記憶のせいかもしれない  
自分が 森に吸い込まれて  
森とひとつになっていくようだ

森羅万象 — 森はすべてを包含している  
森を知って 宇宙を知る  
森を知って 自分を知る  
森での学びによって 森の力を自分の力としたい  
生涯にわたる学びの一步が 有峰の森からはじまる



結実したブナの幹にツキノワグマの新しい爪痕  
(猪根山にて10月3日撮影)



第17回 ありみね高校生学びの森 秋季研修 —猪根山遊歩道 第2展望台にて—

## 【概要】

令和3年10月3日(日)、第17回「ありみね高校生学びの森」第3回目の秋季研修を開催しました。秋季研修は、動物班・植物班共通で、猪根平及び猪根山にて有峰の動植物の調査活動を行いました。参加者は、県内の高等学校11校より講師合計13名と県内の高等学校6校より生徒合計13名、総計26名でした。コロナ禍での対応としてバス乗車時に検温とアルコール消毒・マスク着用を徹底、36名乗りのバス乗車定員を最大15名/台とするなど参加者の健康管理・安全に配慮しながら実施しました。

## < 10月3日(日) 午前中の活動 >

### 1) 旧有峰ハウス裏の溜池他での水生動物調査: 10:20~10:50

8時30分富山駅北口を出発、午前10時過ぎに有峰に到着、旧有峰ハウス前広場ではじまりの会を実施、有峰森林文化村次長中川の挨拶に続き、講師リーダー福田先生より本日の日程等について説明を戴きました。旧有峰ハウス前広場より移動、随時動物のフィールドサインの調査とその観察をしながら、旧有峰ハウス裏の溜池に向かいました。旧有峰ハウス周辺での調査では、裏の溜池を中心に両生類や水生昆虫の調査、採集、同定を行ったのち、採集地点に戻しました。更に、近くの湿地でハクバサンショウウオの調査も実施しました。溜池では、クロサンショウウオとヒダサンショウウオの幼生の他、オタマジャクシ(未同定)やタカネトンボと思われるヤゴも発見、観察することができました。



はじめの会で秋季研修の日程  
を説明するリーダーの福田先生  
(旧有峰ハウス前駐車場にて10月3日撮影)



旧有峰ハウス前駐車場にてはじまりの会  
10月3日撮影



旧有峰ハウス別館裏の溜池で  
両生類調査中の参加者



採集した両生類や水生昆虫に  
ついて同定中の参加者





サンショウウオの生息場所について説明中の講師塚先生



ハクバサンショウウオの幼生



クロサンショウウオの幼生



ヒダサンショウウオの幼生

## 2) 動物のフィールドサイン調査・観察と自動赤外線カメラの回収: 10:50~11:30

「ツキノワグマのフィールドサインを探せ！」の号令のもと、動物のフィールドサインの調査、観察を行いながら、自動赤外線カメラの回収を行いました。



自動赤外線カメラによる動物調査について説明中の福田先生



ツキノワグマのフィールドサイン  
(樹皮はぎ)観察中の参加者



ツキノワグマのフィールドサイン  
(樹皮はぎ)観察中の参加者

**3) クロサンショウウオ及びハクバサンショウウオの観察と自動赤外線カメラ画像の観察:11:30～12:00**

講師塚先生より、有峰に生息している4種類のサンショウウオ、ハクバサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオの特徴や生態について説明を受けた後、水槽越しに、クロサンショウウオ、ヒダサンショウウオ及びハクバサンショウオの観察を行いました。講師福田先生説明の下、猪根平2箇所に設置した自動赤外線カメラ撮影映像の観察を行いました。



サンショウウオについて説明中の講師塚先生



自動赤外線カメラによる動物調査について説明中の講師福田先生



073F 023C 08/21/2021 16:42:41

自動赤外線カメラに映っていたツキノワグマ



09/05/2021 23:47:51

自動赤外線カメラに映っていたホンドキツネ

**ビジターセンターにて昼食:12:10～13:00**

昼休み時間を利用し、夏季研修時灯火採集等で採集した蛾類や蝶類などの展翅した標本にラベルを付け、講師望月先生が準備した標本箱に標本を収納しました。



有峰ビジターセンターにて、標本整理中の参加者



**< 10月3日(日) 午後の活動 >**

**猪根山の植生解説とツキノワグマにフールドサイン調査・観察: 13:00~15:00**

猪根山遊歩道の調査地点10箇所(ST1~ST10)で実施したライトランセクト調査に基づき作成された猪根山樹木マップ2021を活用し、各調査地点での植生について講師氷見先生に解説戴きました。調査地点により、高木層、亜高木層、低木層の優占種が異なること、林内の所々で、枯死木があり、ギャップが形成されていること、有峰ダム建設により樹木が伐採され、ブナなどの二次林が形成されている箇所があることも詳細に解説されました。猪根山頂上付近の遊歩道では実のついたブナに作られたクマ棚や爪痕や糞などのフィールドサインを観察することができました。



猪根山調査マップを説明する講師氷見先生



猪根山の調査地点で植生について  
解説中の講師氷見先生



ブナの樹上に作られたクマ棚



ツキノワグマの爪痕を  
観察中の参加者

**【ふりかえりの会】 15:00~15:30**

15時より、有峰ビジターセンターにてふりかえりの会を実施しました。講師リーダー福田先生に総評を戴きました。最後に有峰森林文化村次長中川の挨拶のあと秋季研修を終了しました



ふりかえりの会で総評する  
リーダーの講師福田先生



ふりかえりの会で挨拶する  
有峰森林文化村次長中川



# 活動MAP

令和3年10月3日(日)

